

2020年01月21日

成育医療科・女性科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「進行卵巣癌における、Bevacizumab 導入前後の 臨床プロファイルの比較・検討」 への協力をお願い

成育医療科・女性科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2010年1月～2020年12月に当科において、
卵巣癌・卵管癌・腹膜癌Ⅲ期以上の診断で治療を行った方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2021年12月31日

研究目的・方法：

Bevacizumab（アバスチン®）は抗 VEGF モノクローナル抗体であり、卵巣癌・卵管癌・腹膜癌においてはⅢ期以上の症例に使用されています。海外臨床試験においてカルボプラチン・パクリタキセルとの併用により有意に無増悪生存期間を延長させていますが、時に消化管穿孔、血栓塞栓症などの重篤な有害事象を来し、使用にあたり慎重な症例の選択と有害事象の管理が必要です。

当院では2013年から Bevacizumab を導入しており、有害事象が少なくより有効な治療を行うために、Bevacizumab 使用症例と非使用症例について比較検討を行います。

研究に用いる試料・情報の種類：

治療開始時年齢、基礎疾患、治療方法、投与レジメン、臨床進行期、病理学的 TNM 分類（進行期）、再発の有無、再発に対する治療法、Bevacizumab 投与回数、Bevacizumab 使用時の有害事象

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果

の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科
電話番号 058-230-6349
氏名：早崎 容

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科
氏名：森重 健一郎